



主要な農作物の生育情報

平成23年度 第4号

(平成23年 9月12日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

今年の出穂期はひとめぼれが平年より2～5日、コシヒカリでは平年並～3日程度遅れ、県全体としてはおよそ2日の遅れとなりました。また農業総合センターでは、本部では平年より2日遅れ、会津と浜地域では平年並～4日早まり、成熟期は平年並み～やや早まる予想となっています。

なお、刈取適期は出穂後積算気温を基にひとめぼれで950℃、コシヒカリで1000～1050℃到達日を目安として最終的には籾の黄化状況により判断します。

表1：水稲主要品種の出穂期と成熟期予想（農業総合センター）（9月9日現在）

場 所	品 種	田植日 (月日)	出穂期			成熟期（予想）		
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)
本 部	ひとめぼれ	5.16	8.07	8.05	+2	(9.14)	9.14	(-0)
	コシヒカリ	5.16	8.15	8.13	+2	(9.27)	9.27	(-0)
会津地域 研究所	ひとめぼれ	5.20	8.05	8.05	-0	(9.15)	9.15	(-0)
	コシヒカリ	5.20	8.09	8.10	-1	(9.22)	9.23	(-1)
浜地域 研究所	ひとめぼれ	5.10	7.31	8.04	-4	(9.12)	9.16	(-4)
	コシヒカリ	5.10	8.09	8.13	-4	(9.26)	10.01	(-6)

農業総合センター作柄解析試験（本年成熟期はほ場診断及び積算気温による予想値）
ひとめぼれ 950℃到達日
コシヒカリ 本部、会津地域は1000℃到達日、浜地域は1050℃到達日

表2：現地における本年出穂期と積算気温到達予想（9月9日現在）農業振興課

アメダス地点	ひとめぼれ出穂期	950℃	コシヒカリ出穂期	1000℃
福 島	8 / 5	9 / 12	8 / 12	9 / 24
郡 山	8 / 9	9 / 20	8 / 14	9 / 30
会津若松	8 / 7	9 / 16	8 / 13	9 / 27
相 馬	8 / 6	9 / 16	8 / 10	9 / 24

【大 豆】

6月に入り播種作業が進みましたが、播種後まとまった降雨が無かったところでは出芽が3～4日遅れました。

農林事務所や農業総合センターによる調査では、全般的に草丈、主茎長、節数など平年を上回る良好な生育となり、開花期は、平年並み～やや早い状況です。

【そ ば】

各農林事務所による調査では、おおむね7月下旬より播種が開始され、平成23年新潟・福島豪雨や台風12号の被害を受けたほ場を除けば、全般的には良好な生育となっています。

なお、会津地域研究所における福島県オリジナルそば品種「会津のかおり」については、8月18日より開花始めとなっています。

【野 菜】

1 夏秋きゅうり

県内各地の露地栽培は、生育は平年並みですが成り疲れ等により草勢が低下し、着果数が減少し尻太果や曲がり果の発生が多くなっています。病虫害では褐斑病、炭疽病、ハモグリバエ類の発生が多くなってきています。

2 夏秋トマト

県南地方では、現在10段果房収穫中で生育は平年並みとなっています。病害では灰色かび病、葉かび病、うどんこ病の発生が見られます。

会津地方の高冷地では、8段果房を収穫中です。生育は平年並みですが、草勢が低下し上段に花落ちが見られます。病害では青枯病の発生が多くなっています。

南会津地方では、現在5段果房収穫中です。生育は平年並みですが、上段に花落ちが見られます。病害では灰色かび病の発生が多くなってきています。

3 サヤインゲン

県中地方では、高温・乾燥等により草勢が低下し落花や曲がり果等の発生が多くありましたが、現在生育は回復傾向にあります。

病虫害では、角斑病、灰色かび病、ハダニ類の発生が見られます。

4 夏秋ピーマン

安達地方・田村地方の露地栽培は、8月上中旬は高温・乾燥により花落ちや尻腐れ果の発生が多くありました。8月下旬以降の降雨で一時的着果過多となり草勢が低下しましたが、現在草勢は回復傾向にあります。

病虫害は、斑点病、タバコガ類、アザミウマ類の発生が見られます。

5 夏秋ナス

安達地方・田村地方・須賀川地方の露地栽培は、8月上中旬は高温・乾燥等により草勢低下し不良果の発生が多く見られました。8月下旬以降は降雨もあり、草勢は回復傾向にあります。病虫害ではうどんこ病、ハダニ類の発生が見られます。

6 アスパラガス

会津地方、南会津地方とも現在夏秋どりの収穫中で、生育は平年並みとなっています。病害は斑点病の発生は少ない傾向にあります。害虫はアザミウマ類の発生が見られます。

【果 樹】

1 モ モ

農業総合センター果樹研究所（以下、果樹研究所という）における「あかつき」の収穫始めは8月5日で平年より3日遅く、収穫盛りは8月10日で平年より4日遅れました。また、果実品質は平年より糖度が低い状況でした。また、「川中島白桃」の収穫始めは8月26日で平年より1日遅く、「ゆうぞら」の収穫始めは9月1日で平年並みの状況でした。

2 ナ シ

果樹研究所における「幸水」の収穫始めは8月29日で平年より2日遅く、収穫盛りは8月30日で平年より3日早まりました。

果樹研究所における「豊水」の果実肥大（暦日比較）は縦径が平年比103%、横径が平年比104%と平年よりやや大きい状況です。果実の生育日数による比較でも、平年よりやや大きい状況です。

3 リンゴ

果樹研究所における「つがる」の収穫始めは8月26日、収穫盛りは9月1日とともに平年より3

日早い状況でした。糖度は平年並み～やや高く、硬度は平年より硬い状況でした。

果樹研究所における「ふじ」の果実肥大（暦日比較）は縦径が平年比102%、横径が平年比105%で平年よりやや大きい状況です。また、果実の生育日数による比較でも、平年よりやや大きい状況です。

【花 き】

1 キク類

露地栽培の小ギクや輪ギクでは、7月中旬以降、高温が続いた影響で9月咲き品種の生育は7日程度遅れ気味になっています。

安達地方のスプレーギクは、彼岸咲き品種の生育はほぼ平年並で、出荷は9月中旬からの見込みです。

害虫の発生は、アブラムシ類の発生がやや多くなっています。

2 リンドウ

南会津地方では、融雪の遅れと7月からの高温の影響による花芽発達の停滞により、生育は5日程度遅れています。

一方、阿武隈山間でも高温の影響が見られるものの、彼岸咲き品種「尾瀬の愛」は8月末から出荷が始まっています。

病害では、8月中旬頃から褐斑病、黒斑病の発生が見られます。

3 シュッコンカスミソウ

高冷地では、融雪の遅れ等により定植作業が遅れましたが、現在は順調に回復してきています。

11月上旬まで出荷する予定ですが、高温の影響による開花の前進もみられ、10月出荷の数量は減少する見込みです。

病害虫では、豪雨で冠水した一部ほ場で疫病等の発生が見られます。

4 トルコギキョウ

会津地方などでは、抑制栽培の出荷が始まっています。高温の影響により生育は全体的にやや前進しているため、10月の出荷量はやや減少する見込みです。

病害虫では、ヨトウムシ類等の鱗翅目幼虫による加害が見られます。

5 シンテッポウユリ

須賀川地方のシンテッポウユリの生育は、春先の低温の影響で1週間程度の遅れが見られますが、葉枯病等の発生も少なく品質は良好です。

1年生株（品種：「うつみね」）の中生種が出荷盛を迎えており、彼岸需要期には晩生種が出荷となる見込みです。

6 カラー

高温の影響によって開花の前進が見られたことから、8月上中旬の出荷数量を減少しましたが、気温の低下に伴い8月下旬からは出荷量が増えてきました。

また、高温による茎元のトロケ症の発生は減少しています。

【飼料作物】

1 牧草

県内の牧草は、現在3番草の生育期となっています。

地域によっては、夏枯れや雑草の発生が見られます。

今年度の牧草は、放射性物質の影響で、中通りと浜通りの多くの地域で乳牛と肉用牛への利用が制

限されています。

なお、原子力発電所事故後に耕耘を行い作付けされた飼料作物（春まき牧草含む）は、モニタリングの結果、暫定許容値を下回る傾向がありますので、経年化し生産性の低下している草地等は、計画的な草地更新を行ってください。

2 飼料用とうもろこし

震災等の影響により、平年に比べ播種作業が遅れたこともあり、生育はやや遅れていますが、早生種では8月下旬から収穫が開始されています。

8月中旬より行った放射性物質のモニタリング検査では、飼料の暫定許容値を下回り、警戒区域と計画的避難区域を除く県内の全ての地域で、給与が可能となりました。

なお、収穫調製にあたっては、土砂の混入など放射性物質の影響に注意を払った調製を行ってください。

3 稲WC S

平年よりやや遅く8月下旬より収穫が開始され、これから本格的な収穫期を迎えます。

なお、収穫調製にあたっては、土砂の混入など放射性物質の影響に注意を払った調製を行ってください。

また、9月中旬より収穫後の放射性物質のモニタリング検査を実施しますので、その結果に基づき、利用や供給を行ってください。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7336

http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyukaihatu/gi_jyutsufukyuu/seiikugijyutsujyohou.html